

ぼくじょう なか ま はなし
牧場の 仲間たちの お話
の 乗り物
まちがった

じゅうだいはん
十代前半のころ、わたしは ジェニーという めすの 子牛を 育てていました。
ははうし し ちち こうし ひと て そだ な や つ
母牛が 死んでしまったので、父は 子牛を 人の 手で 育てるため、納屋に 連れてきたのです。



ジェニーが 大きくなると、わたしは 兄たちと、
ときどき の 時々 ジェニーに 乗ったりしました。ジェニーは 構って
もらうのは 好きですが、そのうち わたしたちを 背中に
の 乗せて ある 歩くのが いやに なってきました。それも
そのはず、ジェニーは 馬では なく、牛なので。うま うし
それで わたしたちを 振り落とそうと して 走り回り
ましたが、落ちないので、今度は わたしたちが あきて
お 降りてくれるだろうと 思い、じっと 立ったまま ある
なりました。それでも うまく いかなかったのですが、
ジェニーは ある 解決策を 見つけました。かいけつさく み



母は 納屋の 外に 浅い 池を 作って、アヒルたちが 水遊びできるように していました。
ある時 ジェニーは、わたしたちを 振り落とそうと 走り回りながら、アヒルの 池の 中に
つっこんだのです。わたしたちのはだしの 足は、どろだらけに なりました！ ウヘー！
わたしたちは、すぐに ジェニーから 飛び降りました！

その策が うまく いったので、ジェニーは 大喜び。それ以来、わたしたちが 乗ろうと
するたびに、ジェニーは アヒルの 池に 突進しました。池に つっこむ 前に、
わたしたちが 飛び降りると 知ったからです。

わたしたちも、ジェニーが め牛で あることを 尊重すべきだと
わかって、もう 乗るのを やめたのでした。

「林の すべての 獣は わたしの もの、
丘の 上の 千々の 家畜も わたしの ものである。」
(口語訳聖書、詩篇 50:10)



文：クリスティ・S・リンチ 絵：レイラ・シェイ デザイン：ステファン・ミラー
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2014年、ファミリーインターナショナル
"Tales of Farm Friends: The Wrong Ride"--Japanese
関連の読物はこちら ⇒ 牧場の仲間たちのお話、子供のための物語、被造物